

1-② 文化芸術教育と郷土に誇りをもてる学びを推進する

取組 4	文化芸術や尾瀬学校等の郷土資源を活用した学びの推進
------	---------------------------

【担当所属：義務教育課 高校教育課 文化振興課 自然環境課】

1 現状

生活意識や価値観の多様化に伴い、暮らしの中に「心の豊かさ」を求める意識が高まっています。そして、本県には、全国でも数少ないプロのオーケストラである群馬交響楽団、優れた景観と貴重な生態に恵まれた尾瀬等、「心の豊かさ」を高める郷土資源があります。

各学校では、音楽、図工・美術、総合的な学習の時間等の授業や文化部活動、尾瀬学校等を通して、これらの郷土資源を活用した学びを推進しています。

(1) 移動音楽教室・高校音楽教室の現状

昭和22年5月から、県内各公立小・中・高校の児童生徒に、群馬交響楽団の演奏を直接鑑賞させ、音楽経験を豊かにするとともに、音楽性を高めるため、移動音楽教室・高校音楽教室を実施しています。

なお、平成24年度からは幼児を対象とした幼児移動音楽教室を開始するなど、本物のクラシック音楽との出会いの場を提供しています。

平成24年度	移動音楽教室（小・中学生）	78公演（336校）	<45,065人>
	高校音楽教室（高校生）	24公演（27校）	<14,684人>
	幼児移動音楽教室（保育園児・幼稚園児）	15公演（15園）	<2,834人>

(2) 県立美術館等を活用した鑑賞学習の現状

各県立美術館では、各館の教育普及事業を活用し、児童生徒が美術作品を直に鑑賞し、芸術に関心を持ち、見る心を養う機会となるよう、鑑賞活動を支援しています。

① 群馬県立近代美術館

（学校団体の受入れ）

年 度	受入学校数	受入人数
平成24年度	33校(延べ)	1,783人

（学校への出張授業）

年 度	実施学校数	実施人数
平成24年度	12校(延べ)	1,036人

② 群馬県立館林美術館

（学校団体の受入れ）

年 度	受入学校数	受入人数
平成24年度	45校(延べ)	1,952人

（学校への出張授業）

年 度	実施学校数	実施人数
平成24年度	17校(延べ)	1,683人

(3) ふるさと（地域の歴史、伝統や文化、自然等）のよさを生かした特色ある教育活動の実施

各小・中学校において、それぞれの地域にあるよさを生かした特色ある教育活動の充実に取り組んでいます。

（特色ある教育活動を実施している小・中学校の割合）

平成24年度	小学校	：	96.9%	中学校	：	80.5%
--------	-----	---	-------	-----	---	-------

(4) 尾瀬学校の現状

群馬県は、我が国における”自然保護の原点”といわれる「尾瀬」に代表されるように、豊かな自然に恵まれています。このため、平成20年度から、小・中学生を対象に、尾瀬の認定ガイドが自然解説を行う質の高い自然体験を通して、自然保護の意識を醸成するとともに、郷土を愛する心を育む「尾瀬学校」に積極的に取り組んでいます。その中では、公衆トイレの浄化槽について施設見学をするなど、環境教育の充実にも力を入れています。このほかに尾瀬学校の引率指導者等を対象とした教職員研修を実施し、「尾瀬学校」の一層の充実を図っています。

年 度	参加学校数	参加人数
H21	135校	10,113人
H24	154校	11,224人

(5) 群馬県高等学校総合文化祭

高校生に文化部活動の成果発表の機会を提供するため、県高等学校文化連盟と連携し、本県高校教育の芸術・文化活動の総合的・象徴的イベントである「群馬県高等学校総合文化祭」を平成7年度から毎年開催しています。県内公立高校及び特別支援学校高等部の生徒による芸術・文化活動に関する総合的・象徴的な祭典で、文化部活動を含めた高校教育における芸術・文化活動の一層の活性化を図っています。また、県の代表生徒が全国高等学校総合文化祭に出場し、着実に成果をあげています。

2 課題

- (1) 児童生徒が、本物の文化芸術に触れる機会をより一層増やすこと
- (2) 各教科等と結び付く地域学習や伝統文化教育を充実し、郷土を学ぶこと
- (3) 本県が誇る自然保護の原点である尾瀬のよさを知り、自然やふるさとの学びを推進すること
- (4) 身近な環境資源を活用した環境教育を推進すること
- (5) 高校生の主体的な芸術活動等の場である文化部活動の質の向上を図ること

3 取組の方向

- (1) 児童生徒が、本物の自然や文化に触れることができるよう、本県のもつ様々な郷土資源を活用した、各学校の特色ある教育活動の推進に努めます。
- (2) 尾瀬学校について、更なる内容の充実と安全の確保を図り、「ぐんまの子どもを一度は尾瀬に」という目標の達成を目指します。
- (3) 「群馬県環境学習推進行動計画（仮称）」に基づく環境教育を推進し、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養います。
- (4) 文化部活動の成果を発表する場や生徒同士が交流する場を設け、生徒の意欲を高めるとともに、文化部活動の質の向上を図ります。

4 主な取組内容

- (1) 小・中・高校生を対象とした群馬交響楽団の音楽教室により、本物のクラシック音楽との出会いの場を提供します。
- (2) 地域の美術館・博物館で行われている展覧会の鑑賞や教育普及活動を学校教育で活用することを促します。
- (3) 特色ある教育活動に取り組んでいる小・中学校の実践例を周知します。
- (4) 郷土資料集を活用して、「道徳の時間」の指導の充実を図ります。
- (5) 各教科において、上毛かるたをはじめとした郷土かるた等、郷土資源を活用した指導例を紹介します。
- (6) 尾瀬学校の学習プログラムの充実を図るとともに、山小屋への宿泊を含め、市町村教育委員会や各学校の理解を進めます。また、引率教員等を対象とした研修を引き続き開催します。
- (7) 環境教育に係る教科、科目等の優れた実践事例の蓄積と普及により、授業の改善・充実を図ります。
- (8) 身近な環境資源を活用した環境教育を支援できる関係機関や外部人材を学校に紹介します。
- (9) 総合文化祭等の開催により、文化部活動の発表の場や生徒同士が交流する場を設けるとともに、本県の芸術・文化活動の一層の発展の基盤を作ります。また、全国高等学校総合文化祭への積極的な取組を推進します。

5 達成目標

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
(1) ふるさと（地域の歴史、伝統や文化、自然等）のよさを生かした特色ある教育活動をしている小・中学校の割合	小 96.9% 中 80.5%	小 100% 中 100%
(2) 住んでいる地域の歴史や自然について関心がある小・中学生の割合	小6 66.3% 中3 41.0%	小6 80% 中3 80%
(3) 尾瀬学校に参加している小・中学生の人数	11,224人(H24)	20,000人
(4) 全国高等学校総合文化祭における入賞数	4	8

6 他の施策分野における関連した取組

- (1) 県立美術館・博物館では、分かりやすい展示と解説を心がけるとともに、教育普及等の事業を通して、多くの県民の文化芸術への関心を高め、県民の文化意識の向上を図っています。
- (2) 優れた文化芸術活動を行っている県内のアマチュア団体を、幼稚園・保育所、児童館等に派遣し、子ども向けの公演やワークショップ（※1）等文化体験ができる場の提供を行っています。
- (3) 小・中学生を対象に日本舞踊、邦楽及び人形芝居の鑑賞や体験等の伝統文化に親しむ機会を提供するとともに、保存・継承・発展のための実践活動に学校と連携して取り組んでいます。（以上、文化振興課）
- (4) こどもエコクラブ登録団体の環境活動を、学習会、交流会の開催によるクラブ間交流、情報の提供等で支援することにより、地域の子どものための環境教育を推進しています。
- (5) 県内小・中学校において総合的な学習の時間等に行われるエコムーブ号「動く環境教室」では、地域人材を講師として派遣することにより、体験型の環境学習の機会を提供しています。（以上、環境政策課）
- (6) 群馬県緑のインタプリター等の森林環境教育の専門家の小・中学校に派遣し、ネイチャーゲームや自然観察、間伐体験等の指導を行っています。（緑化推進課）

※1 ワークショップ：参加者が自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で何かを学び合ったり創り出したりする、双方向的な学びと創造の手法